

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.44》2016年10月発行

【ご挨拶】大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

10月に入っても最高気温が30℃近い蒸し暑い日々が続き、雨の多いこの頃で、台風も通過することが多くなっています。今月3日には、おんせん県CM「シンプロ」第2弾となる「ゆけ、シンプロ部！」が公開されました。メイキング映像も含め、楽しんでいただければと思います。これからイベントも目白押しシーズン、旅行者には、大分の秋を是非、満喫してもらいたいと思います。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



生活環境部
私学振興・青少年課
課長

徳野 満

(Mitsuru TOKUNO)

【連絡先 (Mail)】
a13255@pref.oita.lg.jp

ハーバード大生と私立高校生との交流
中津市の東九州龍谷高校が、県や市教委と協働し、米ハーバード大学生との交流行事を実施しました。同校特別進学コースの約30人の生徒は、アメリカから来日した学生の発表を聞いて現地の教育環境を学んだり、市内の名所を英語で案内したりしました。

一般社団法人「サマー・イン・ジャパン2016」の共同設立者で、ハーバード大卒業生の廣津留すみれさんと学生8人が7月末に来日。大分市で各地から集まった中学生等に対して、プレゼン講座や英語指導者向けセミナーを開いた後、8月6日に同校を訪れました。

交流行事では、ハーバード大学生のプレゼンテーションと演劇等の発表の後、グループに分かれて英会話を楽しみました。歓迎式典では同校の仏教系グループ「NUM—NUM GIRLS」が英語でパフォーマンスを披露するなどなごやかな雰囲気の中行われました。午後からは、高校生が市内の福沢旧居や中津城を英語で案内しました。

交流行事に先立って、7月16日には廣津留すみれさんが同校を訪問し、特別進学コースの生徒たちに、英語授業、ハーバードでの学生生活の説明、生徒達との意見交換を行いました。生徒達は彼女の勉強の仕方や大学の様子を聞いて、自分の進路を考えるうえで大変刺激になったと感想を述べていました。



注目記事① 県産農林水産物パンフレットが完成しました！

養殖ブリ・おおい豊後牛・乾しいたけを中心に大分県が誇る豊富な食材を、地獄蒸しや、りゅうきゅうなどの食文化と併せ、さらに小鹿田焼きや竹箸などの工芸品もまるごと盛り込んだ海外向けパンフレットを作成しました。

インバウンド対策も視野に入れて、日本語版をはじめ、英語版や台湾・香港・マカオなど向け繁体字版、上海・北京・大連など向け簡体字版の4種類を作成し、商談会や販促フェア、バイヤー招へい時に活用しています。

大分県産の魅力あふれるブランド食材が8ページに凝縮されており、おかげさまで、好評をいただいています。



※現在、ホームページも作成中ですので、県産品の販路拡大にご協力ください！【おおいブランド推進課】

注目記事② 大分県台湾プロモーションを開催

9月8日～10日の3日間、広瀬知事を団長とし、商工会議所連合会会長、県工業連合会会長、ツーリズムおおいた会長ほか農林水産団体や関係企業等からなる計101名の訪問団が台湾を訪れ、ものづくり産業の企業交流会や、県産食材を使用した「大分県のタベ」、県産品の商談会や販促活動などを行い、県産品と観光の一体的なプロモーションを実施しました。また、台中市と友好交流に関する覚書を締結し、今後の交流促進を図るとともに、定期便就航を働きかけました。【国際政策課】

台北市

台北市では、亜東関係協会の邱会長や台湾のトップ企業グループである三三企業交流会の江会長と今後の交流の促進や台中一大分間の定期便就航などについて意見を交換しました。更に、マンダリン航空の韓社長に定期便の誘致活動を行いました。



マンダリン航空韓社長との面談

台中市訪問

林台中市長を表敬し、観光・産業・農業・文化・スポーツ・教育など幅広い分野における友好交流に関する覚書を締結しました。また、台中市出身の蔡立法院副院長と面談し、今後の定期便の就航に向けて、ご支援をお願いしました。

台中県人会から



台中市長、台中県人会の皆さんと知事

2016年9月8日、「大分県と台中市との友好交流に関する覚書」締結式が台中市庁舎にて行われ、県人会を代表して私も同席させていただきました。広瀬勝貞知事、林佳龍市長、両首長が署名する記念すべき瞬間に立ち会うことができ、現地で暮らす大分県人として感無量なものがございました。今回のイベントは現地マスコミ報道で大きく取り上げられました。市政府のHPでも紹介されています。

締結式のあとに行われた市主催の晩さん会には、県人会の主要メンバーも招かれ、出席者全員で新たな門出を、台湾らしく「カンペイ(乾杯)！」で祝いました。会場内は終始和やかに歓談が交わされ、特に林市長は覚書締結を結婚になぞらえ、「これからは互いに身内として様々な分野で交流を深めていきたい」と抱負を語られました。なお今回も県人会旗が大活躍し、会場内で注目を集めました。

【台中県人会 会長 丸尾貴彦様】

販売促進活動・商談会

県産品の販売促進活動では、「日田梨」を中秋節に合わせ台湾全土の8店舗で売り込み、台北の量販店では知事も店頭立ち、養殖ヒラマサなど農林水産物のPRを行いました。

商談については、ものづくり企業や県産の酒類・加工食品、LSIクラスターの企業が、台中市と台北市で商談会を開き、台湾から100社以上の参加があり今後の取引につながる活動ができました。



知事による養殖ヒラマサの試食提供

大分県のタベ

オークラプレステージホテル台北にて、「大分県のタベ」を開催し、台湾の観光、貿易・流通、ものづくり、メディア、県人会などから193名もの参加をいただき、大分県の食と観光の魅力を大いにアピールできました。県産品メニューを使用した試食の提供や、ブランドおおいた輸出促進協議会農産部会等、計8つのブースを設け、留学生OBの通訳とともに、加工品の試食や展示も行いました。



大分県のタベ 会場の様子

注目記事② 大分県台湾プロモーションを開催(前ページから)

台北県人会から



台北大分県人会の皆さんと知事

昨年につき、2回目となる「大分県の夕べ」に台北大分県人会メンバーとして参加しました。今回は広瀬勝貞大分県知事が来台され、知事のユーモアあふれるスピーチに会場は大変盛り上がりました。りゅうきゅう、ヒラマサの刺身、かぼすヒラメ、どんこ椎茸の天ぷら、日田梨など、大分を代表する海の幸・山の幸が振る舞われ、また、温泉観光協会や日田市など各団体によるPRもあり、昨年以上に大分の魅力を台湾の方にアピールできたのではないかと思います。県人会での写真撮影には知事にもご参加いただき、県人会メンバーも大喜びでした。

【台北県人会 池部 美穂様】

注目記事③ セミコン台湾出展&台湾企業との商談会開催

9月7日～9日に、台湾の台北市で国際的半導体展示会の「セミコン台湾」が開催され、大分県LSIクラスター形成推進会議(本県半導体関連産業の推進母体として平成15年に設立:会員企業数99社)が出展しました。展示会では世界各国から約600の企業が出展して連日多くの来場者があり、本県企業の紹介や取組状況等をPRしました。

また、8日には、平成23年に当会議とMOUを締結した台湾電子設備協会と今回新たに協賛いただいた台湾区電機電子工業同業公会の会員企業と県内企業との商談会を開催し、本県から15社、台湾から32社が参加しました。

半導体関連産業は、スマートフォンの普及等により世界市場がアジアを中心に拡大しています。とりわけ台湾は大手半導体製造企業を有して世界トップの半導体生産能力を備えており、その台湾を本県のグローバルパートナーとして、今後もビジネス交流を継続し、海外展開を図っていきます。【産業集積推進室】



LSIクラスター形成推進会議のブース

注目記事④ 台湾(台中)からの定期チャーター便が運航開始

台湾のマンダリン航空による台中-大分の定期チャーター便が、9月15日(木)から運航を開始しました。

台中空港からの運航初便には、マンダリン航空の韓社長、台中市政府の郭副秘書長をはじめとした訪問団が搭乗して来県したことから、大分空港で歓迎行事を行うとともに、知事への表敬訪問を行いました。

今後、台中などで観光プロモーションを実施するなど本県への観光需要を喚起し、定期チャーター便の利用促進を図ることで、定期便の就航につなげたいと考えています。【交通政策課】



大分空港での歓迎行事

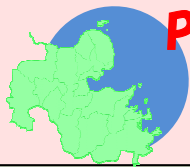


LA県人会會田会長が来庁しました



9月16日に、ロサンゼルス県人会の會田会長が、10月におおいたブランド推進課が主管となり実施する県産農林水産物等トップセールスinロサンゼルスに関する打合せ等のために来庁しました。ミーティングでは、来年のLA大分県人会100周年記念行事についても触れ、来月のイベントと合わせ、現状確認や意見交換を行いました。

【国際政策課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（9月）



【9月8日（火）】「Go! Beppu」第36回新聞広告大賞受賞



日本新聞協会は、4月に熊本、大分両県で発生した地震による風評被害に迅速に対応したとして、第36回新聞広告大賞を、遊び心あふれたコピーとともに5月初旬に大分合同新聞に4種類掲載された「Go! Beppuおおいたへ行こう！キャンペーン」（おんせん県観光誘致協議会）に贈りました。



【9月13日（火）】リオパラリンピック ボッチャで銀メダル

別府市太陽の家所属の木谷隆行選手が、リオデジャネイロ・パラリンピックでボッチャ日本代表チームに参加し、銀メダルを獲得しました。決勝では惜しくもタイに敗れましたが、この種目初のメダルとなり、東京パラリンピックに向け大きな快挙となりました。



【9月15日（木）】「おおいた」食材検索システム」開設



大分県産品の品目や出荷時期、産地別などで検索できるウェブサイトが開設されました。生産者、流通関係者、消費者をつなぎ県産品を広く流通させることを目的としています。各ページには、企業名や電話番号も掲載されています。http://theoita.com/oita_search/

※国際政策課にて新聞等を元に作成



中国湖北省研修員の「私の大分☆見聞録」

～白杵石仏火まつり～

8月27日の夜、白杵で大仏火祭りが行われました。普段夜は中に入れないところに、その日だけ夜5時から無料で中に入れます。大分県は、カボスの生産量が日本一です。8月はちょうどカボスの収穫時期で、県のカボスを宣伝するために、県外から来た方にカボスを無料で配ります。私は県外の方ではなく外国人なので、カボスを二つももらいました。また、仏と言えば、蓮の花というものができます。8月はちょうど蓮の実の収穫時期です。日本では、あまり蓮の実を食べませんが、中国では、蓮の実は体にいいものとして、人々によく食べられます。意外なことに、そこで蓮の実のご飯も無料で配ります。竹で作った碗に、白い蓮の実がご飯の中に入って、柔らかくて、苦みが全然なくて、とても美味しかったです。



七時から大仏の前に、かがり火をつけます。7時になって、担当の方が合図を聞いた後、一斉にかがり火をつけました。一瞬で夜の大仏は火に赤く染められました。かがり火のほか、竹で作った容器に、油みたいなものがあり、6時半前後に火を付けられました。普段真っ暗な道端にそのような火がたくさん置かれました。暗くなってから、大仏側からかがり火の形で、地上にある星のように輝いていました。地面でちらりっ、ちらりっとなりて光って、まるで夜の穏やかな極楽の図を描いていました。近くにあるお寺も提灯を点けました。地元の人々が盆踊りをしていました。川で反射した火もとても綺麗でした。外国人の私から見れば、それはまるで、アニメの中だけ出てくる画面だと思われました。それこそ日本らしさと日本なりの独自の魅力だと思われま。

白杵火まつりは石仏のご加護への感謝、盆に帰ってきた祖先への送り火、虫追いとして、室町時代から伝えられてきた祭りです。その祭りは約700年間続けられています。

【研修員 謝芳】

From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

9月、久住・九重地方へ2回行きました。まずは、登山に行ってきました。久住山には登りませんでしたが、周りにあるくじゅう連山を登って、そこにある湖の周りも歩いてきました。天気は晴れて、一緒に登った人々はみな元気でした。なかなかすばらしい雰囲気でした。山の上で、ベーコンと卵を焼いて、景色を見ながらホットサンドを食べました。終わりに、疲れた筋肉を湯に浸すため、星生温泉に行きました。登山のおかげか、温泉のおかげか、その夜ぐっすり寝られました。

同じ月、同僚の二人と、くじゅう花公園に行きました。非常にきれいで、季節によって咲く花が違うので、絶対に戻りたい場所です。その後、ワイナリーやガンジーファームなどの久住の様々な名所を巡りました。都市を出て、田舎に時間を過ごすのは魂を慰めるものですね。久住・九重地方の美味しいものたくさん食べたので、久住・九重地方でできる登山のような運動もいいなあと思いました。



金 眞雅
(Kim Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

高校の友達が大方へ来てくれました。あいにく台風の予報でせっかくの旅行ができなくなってしまうのではないかと心配でしたが、朝起きたら昨日の予報とはまったく違う天気だったので、予定通り動くことが出来ました。駅で自転車を借りて頑張つてうみたまごまで漕ぎました。海沿いの広い自転車道を走ると別府湾と高崎山の美しい景色が目に入ってきて、心地よい風も吹き、友達もこの景色に癒されると言ってくれました。自転車でも走ってきた後、温泉に浸かっていたら、疲れがとれてとても気持ち良かったです。

今月また、友達が大方を訪問する予定で、どこへ連れて行こうか迷っています。今度は私もまだ行ってない所に行きたいと思っていますので、お勧めのスポットがあればぜひ教えてください。



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)
県国際交流員
米国
pu1014001@pref.oita.jp

今月タデ原湿原に行きました。タデ原湿原を歩く前に、長者原ビジターセンターに行きました。ビジターセンターでいろいろな便利な施設と環境に関する資料やビデオがありました。こんな火山の周りに位置する湿原に行ったことがなかったのでとても楽しかったです。湿原では多数のウォーキングコースがありました。時間がかからなかったコースを選んで簡単なコースなのに見える景色がとてもきれいでした。阿蘇山がどこからも見えて自然に囲まれていました。運動せずにゆっくり自然が楽しめて良かったです。



章 羽紅
(Yuhong Zhang)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.jp

9月17日に竹田市で彼岸花祭りを契機に、竹田を訪問しました。竹田市は二回目です。まず後藤だるま工房を訪ね、姫だるまの制作過程をおかみさんの紹介を聞きながら、現場を見学しました。一個を作るのに、7日〜10日もかかることにびっくりしました。80歳を超えたおばあちゃんはまだ元気で自ら作っていることにとても感心しました。白水のダムにもよりました。鏡のように輝き、とてもすばしかったです。彼岸花は多くの観光客を惹きつけました。皆さんは写真をとったりして、美しい大自然を楽しみました。隣の空き地では神楽の演奏もありました。帰りに、例のラムネ温泉に入りました。竹田を一日満喫できました。



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【由布市／国東市】



(由布市)
「湯平温泉白熊まつり」
湯平温泉の安泰・繁栄と五穀豊稔を祈願する伝統的なお祭り



(由布市)
「大禰社の大スギ」
国指定天然記念物記念
胸高幹廻11m、樹齢1000年以上



(国東市)
「旧千燈寺跡」
六郷満山寺院を開基した仁
聞菩薩が最初に開いた寺



(国東市)
「湧音楽」
造り酒屋として明治中期に建築
現在は工房・ギャラリー



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】

国際政策課 担当:野田

【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

